

ケースで学ぶ！情報セキュリティの最新脅威 2023-2024年版(標的型メール 対応)

情報セキュリティ教育の最新版！

情報セキュリティの最新動向に基づき、企業活動を行うなかで、まさに今注意すべき事柄について学習します。

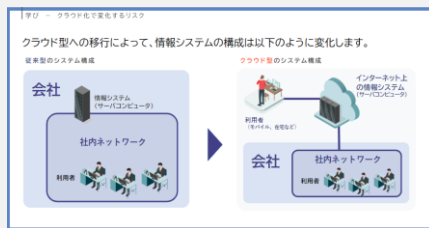
今回は最もセキュリティの問題が大きいとされるメールのセキュリティに関して、近年の潮流や最新動向、対策まで学習します。

日常的な事例を用いて学習することにより、実際のビジネスシーンでの適切な対処方法が理解しやすいようになっています。

POINT 01

IT サービスのクラウド化に対応

ISMS の最新化の中でも特に意識されていたIT サービスのクラウド化についてメリット・デメリットについて手厚く扱っています。



POINT 02

「気づき→学び→実践」

「気づき→学び→実践」の段階的な学習を通して、適切な行動を考えることができるようになります。

気づき - 社内での業務とは異なるリスク

学び - モバイルワーク時のリスク

実践 - 【QUIZ】

POINT 03

当事者意識を醸成

事例を通じた学習やセルフチェックによって、当事者意識を醸成します。

【事例】 ケースで学ぶ！情報セキュリティの最新脅威 2023-2024年版(標的型メール 対応) < 前ページ > 次ページ >

プレチェック
現在の状況

自分でチェックしてみよう - 情報セキュリティ対策は万金ですか？

ここでは個人と組織の情報セキュリティの対策状況をチェックして、情報セキュリティに対する意識や対策のレベルを確認します。
各選択項目を前向き、あるいはあるものにチェックを入れてください。

Q1
まず自分の情報セキュリティ意識をチェックしましょう。
下記の選択項目のうち、あてはまるものにチェックを入れてください。

- A. 過去の情報漏えい事件について、事件の経緯と原因を知っている
- B. 自分のスマートフォンには、パスワードによるロックをしている
- C. メール送信前には、送信先と内容を確認している

ケースで学ぶ！情報セキュリティの最新脅威 2023-2024年版(標的型メール 対応)

学習目標

- ・情報セキュリティの最新の動向が分かる。
- ・情報セキュリティを守るための適切な行動が分かる。

前提知識

特になし

※「情報セキュリティの基礎」をすでに受講している、もしくはそれと同等の知識を有することが望ましい。

第1章 情報セキュリティの基本

- ・情報セキュリティとは
- ・情報セキュリティの3要素
- ・情報を守るためのルール
- ・取り組みの実践

第2章 情報システムのクラウド化による変化

- ・クラウド化で変化するリスク
- ・事件・事故の事例
- ・利用者としての注意点
- ・防御策の変化

第3章 標的型攻撃とランサムウェア

- ・標的型攻撃
- ・運び屋プログラム Emotet
- ・ランサムウェアの脅威
- ・被害を防ぐ対策

第4章 モバイルやリモートワークにおけるリスク

- ・社内での業務とは異なるリスク
- ・モバイルワーク時のリスク
- ・在宅勤務時のリスク
- ・物理的な紛失・盗難
- ・情報資産の持ち出し／持ち込み

※各レッスンの後に確認テストがあります。

セルフチェック

総合テスト

コースレビュー

付録A: コースポイント集

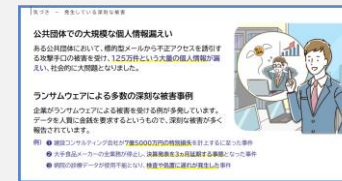
● 受講期間: 6カ月 (+ 閲覧期間6カ月)

● チュータによる個別指導: なし

● 標準学習時間: 0.5時間

● PDF資料: あり

● 定価: ¥ 4,500円 (税別)



1
気づき



2
学び



3
実践



セルフ
チェック